

1. シン学校プロジェクトとは

シン学校プロジェクトは、少子化が進み児童生徒数が減少する中で、単に古くなった校舎を順番に建て替えていくのではなく、新しい時代にふさわしい学校の在り方について、市民・地域の皆さまからご意見をいただき、一緒に考えていこうというものです。

2024(令和6)年4月から第1期プロジェクト(前期、後期)の候補となる学校の提案を募集し、富士小学校については、公民館、児童館・児童クラブとの複合化などの提案を受け、2024(令和6)年7月の総合教育会議において、前期の対象校に決定しました。

2. 施設整備のコンセプト (ワークショップで提示された整備のコンセプトを以下に示します。)

今回の整備計画は、富士小学校の再整備にあわせて、富士公民館及び富士児童クラブを複合化することで、富士小学校をだれもが安心して集まることのできる「地域コミュニティの拠点」とします。

- ① 教育カリキュラムの変化や児童数の変化など、多様な学習形態に柔軟に対応できるような施設とします。
- ② 各施設の機能を一部共用することにより、施設全体の省スペース化を図るとともに、コンパクトで管理しやすい施設とします。
- ③ 子どもたちや地域住民がアクセスしやすい動線計画とし、歩車分離に配慮して安心安全に通うことのできるような外構計画・駐車計画とします。
- ④ 放課後や休日利用も含めて、小学校・公民館及び児童クラブそれぞれの運営に支障をきたさない管理・セキュリティ計画とします。
- ⑤ 高齢者や障害のある方など、誰もが利用しやすいように、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した施設とします。

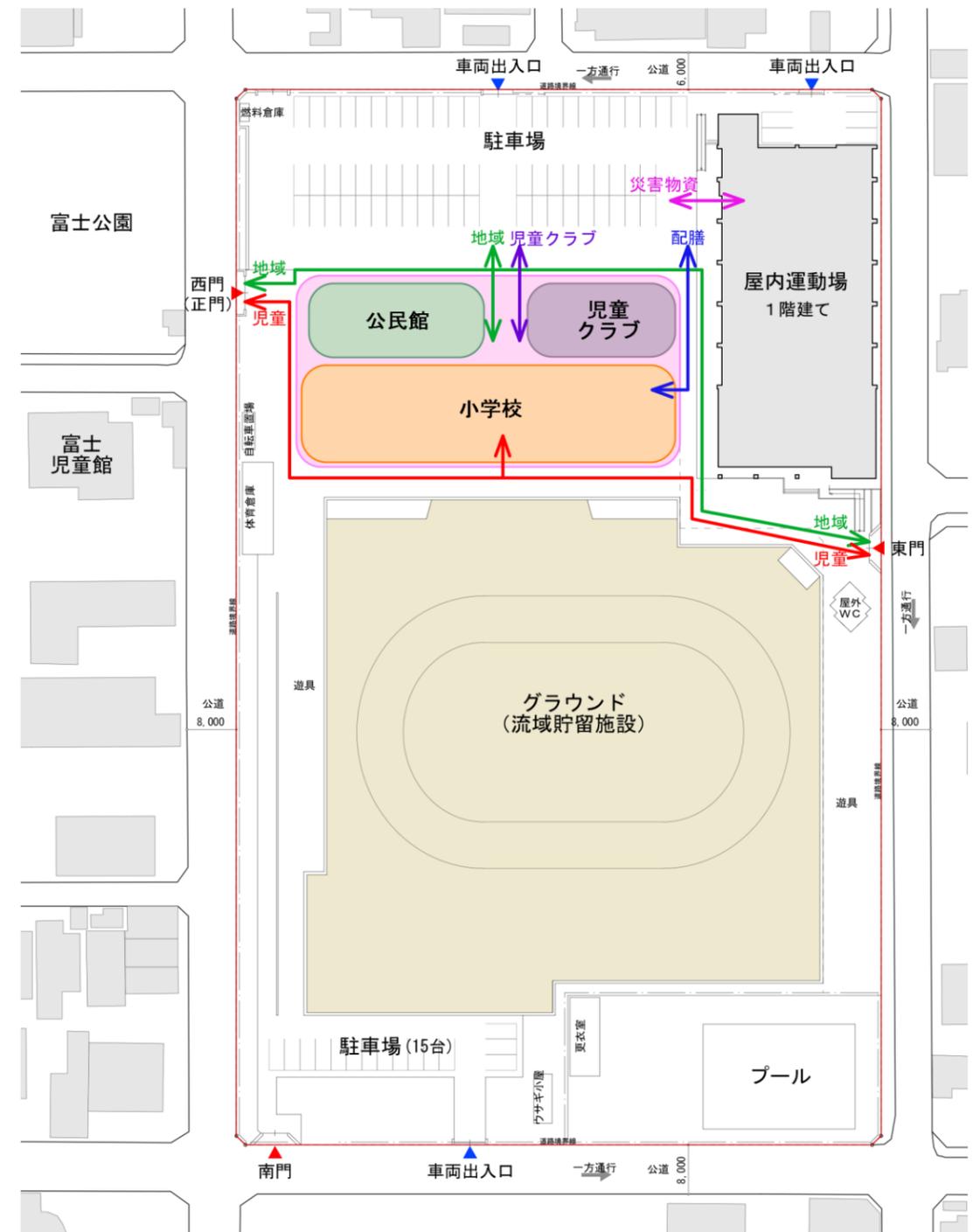
3. 施設配置の比較検討

施設整備の前提条件、利用者の動線、校舎の機能、外構計画、周辺環境、工程及びコスト等を踏まえ配置計画を複数案比較検討し、基本計画ではC案「中央配置型の3階建」をもとに、計画案をまとめる方針となりました。(ただし、屋内運動場、グラウンド、プールは本計画対象外)

配置の特徴	A 従前配置型/2階建	B 北配置型/3階建	C 中央配置型/3階建	D 従前配置型/2階建 2期工事
配置イメージ				

4. 施設配置計画

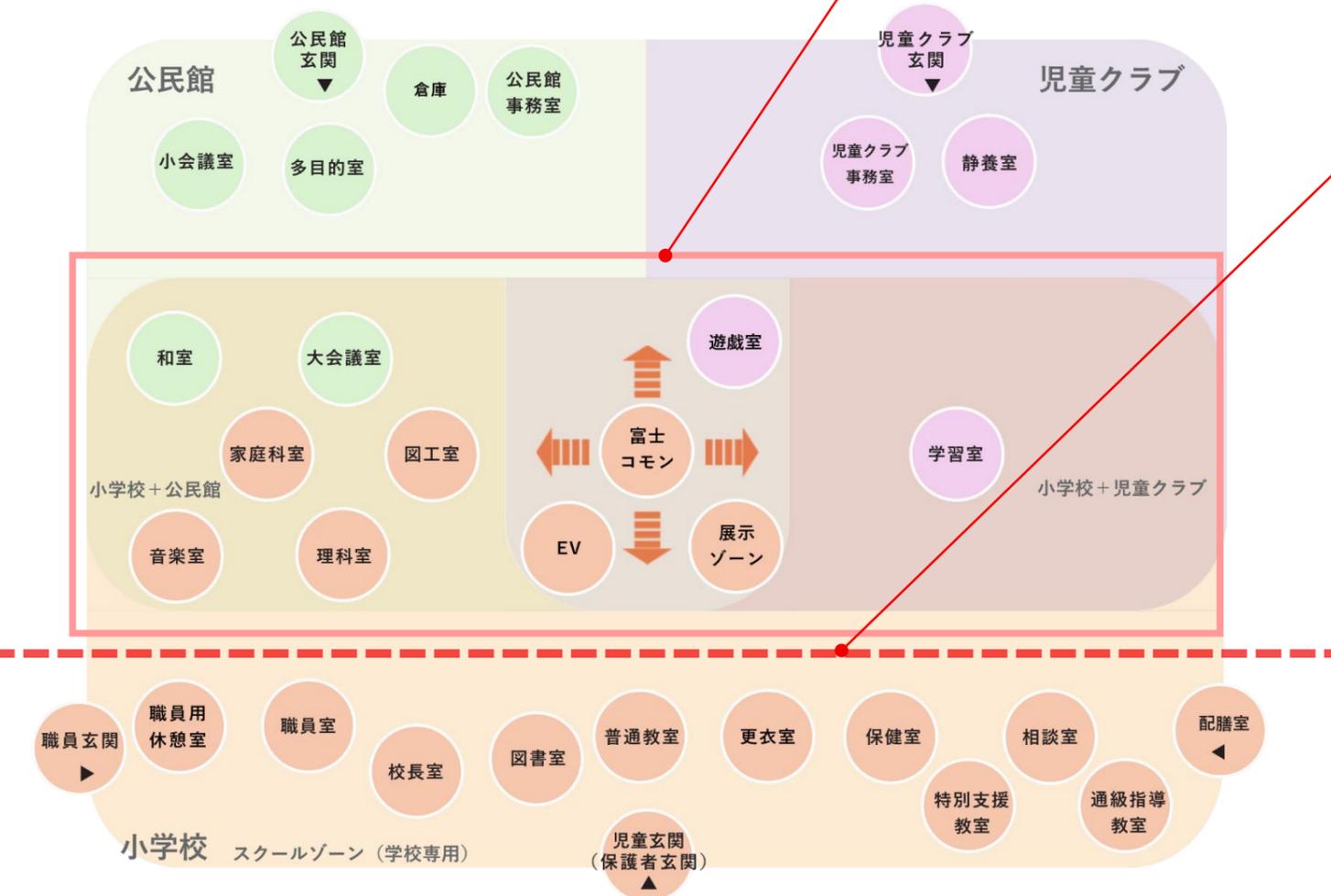
児童や地域住民の利用動線を考慮し、グラウンドに面した南側に小学校、正門からアクセスしやすい西側に公民館、送迎が容易な駐車場付近に児童クラブを配置します。また、校舎北側に駐車場を整備し、歩車分離を明瞭にすることで、利用しやすく安全な施設計画とします。



5. ゾーニング計画

具体的な部屋や設備がどのように複合施設に配置されるのか、各部屋(用途)の関係性を以下のような施設ゾーニング計画として作成しました。

共用スペースとして配置される部屋や設備は、地域と学校で使うので、多様な使い方ができる空間づくりが求められる



小学校専用の部屋に対してはセキュリティラインを明確にする

ゾーニング要点

- ・施設の中心に「富士コモン」という共用スペースを配置し、エレベーター、展示ゾーンなどの共用性の高い部屋や設備を配置する。
- ・特別教室や会議室は小学校と公民館の共用スペースとして配置することで、建物全体の省スペース化を図る。
- ・職員室の近くに視線の気にならない職員用の休憩室を設置する。
- ・児童クラブは、現在の定員が確保できるように、床面積を確保する。また、職員事務室、子どもの静養室を確保し、手洗い場、台所施設、トイレ等は学校施設と共用する。出入口は児童クラブ専用とする。
- ・特別教室等を利用して、放課後子ども教室を実施する。

6. 事業スケジュール

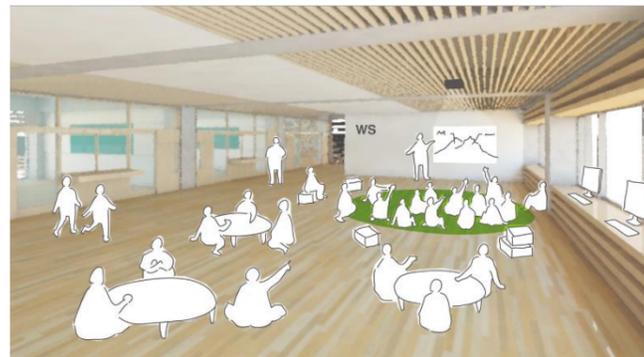
2026～2027(令和8～9)年度に基本設計・実施設計、2028～2031(令和10～13)年度に仮設校舎や既設校舎の解体、新校舎の建設工事を行い、共用開始は概ね2032(令和14)年度を想定しています。

項目	2026(令和8)年度	2027(令和9)年度	2028(令和10)年度	2029(令和11)年度	2030(令和12)年度	2031(令和13)年度	2032(令和14)年度
事業スケジュール	基本設計	実施設計	仮設校舎建設	現南舎解体	新校舎建設	一部供用開始 北舎・仮設解体 外構工事	全体供用開始

〈 富士コモン(共用スペース)のイメージ1 〉



〈 富士コモン(共用スペース)のイメージ2 〉

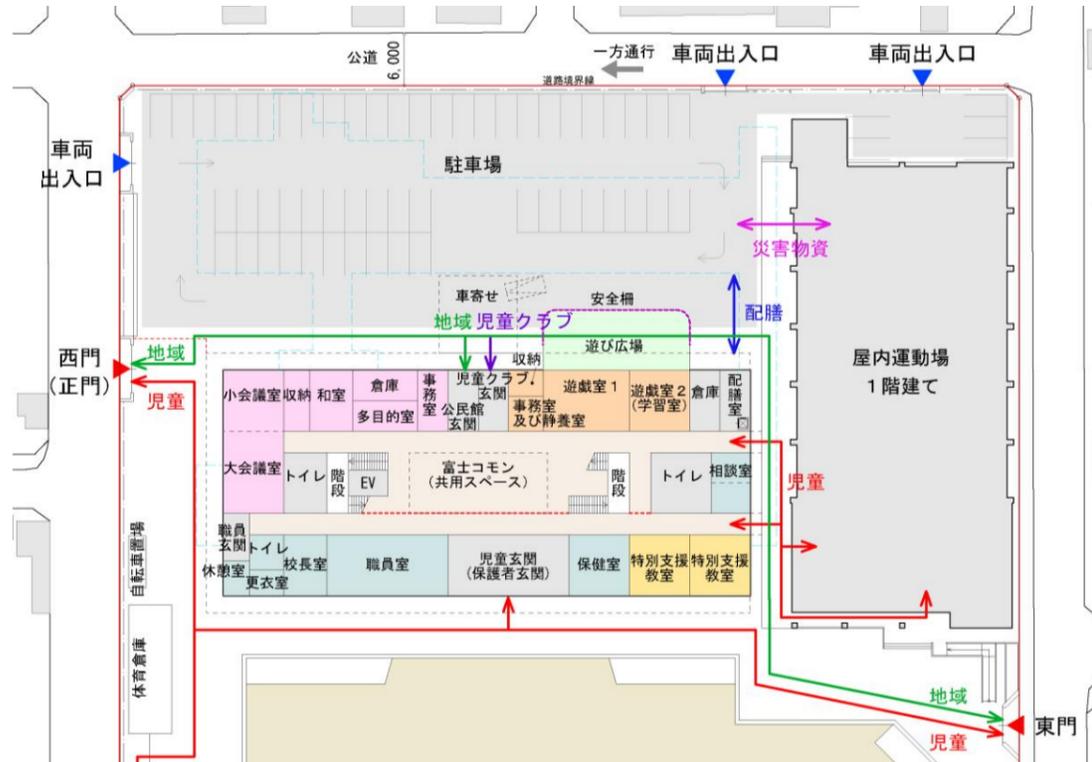


7. 概算事業費

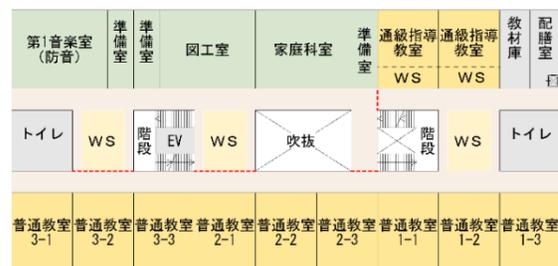
施設の概算事業費として、基本計画段階では、約39億円を想定しています。内訳は、設計費等におよそ3.1億円、既設校舎の解体におよそ4.5億円、仮設校舎におよそ3.4億円、新校舎建設におよそ28億円となっています。

8. イメージ図

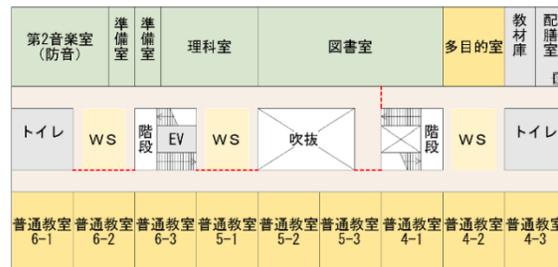
施設配置計画、ゾーニング計画をもとにイメージ図を作成し、小学校の学習スペースと複合施設の共用スペースとのセキュリティラインについてもワークショップで協議を行い、方針をまとめました。



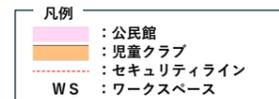
配置兼1階イメージ図



2階イメージ図



3階イメージ図



プランの特徴

- ・南側に児童玄関、北側に公民館玄関、中央に「富士コモン(共用スペース)」を配置。施設に入ると自然と交流が生まれる空間
- ・1階は「富士コモン」を中心に公民館、児童クラブ、学校の管理諸室を配置。セキュリティ管理できるよう計画
- ・南面採光の明るい普通教室と、安定した光を取り入れる北面採光の特別教室
- ・2、3階の中央にWS(ワークスペース)を設け、異学年交流を図る。

9. 施設建替計画

北舎・南舎の解体時期を分け、工事中においても一方の校舎を使用することで、必要な仮設校舎の規模を減らし、建設費用の削減を図ります。また、仮設渡り廊下を設置することで、校内の歩車分離を明確にし、より安全な工事計画とします。

(1) 仮設校舎建設



(2) 南舎から仮設校舎へ引越し→南舎解体

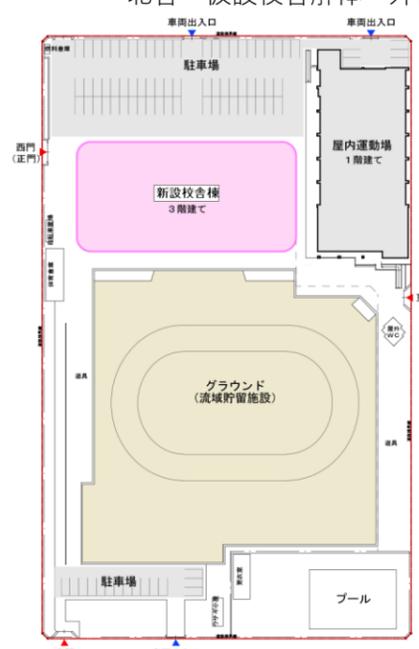


(3) 校舎新設(既設北舎使用)



(4) 新設校舎へ引越し→

北舎・仮設校舎解体・外構工事



※基本設計および実施設計の段階で内容が変更される場合があります。